

*9月の生活や運動会を通して、ねらいを達成するためにどんなことができたか。

以下の項目で評価をしてください。また、下の欄には評価した理由も記入してください。

4 - できている 3 - どちらかといえばできている 2 - どちらかといえばできなかった 1 - できなかった
 当てはまるところに○印をつけてください。

3歳児 年少 9月		評価			
1	自分の好きな場所や遊びを通して、保育者や友達とかかわる中で、園生活のリズムを取り戻し、期待をもって登園する	4	3	2	1
			4クラス		
2	走ったり、跳んだり、転がったり、踊ったりして、思いきり全身を動かして遊ぶ心地よさや、リズムに合わせて表現する楽しさを味わう	4	3	2	1
		1クラス	3クラス		

< 自分の評価における考察 >

9月

- 4月のスタートと比べ、9月だからこそ工夫したことはありますか

1学期のことが身につけている姿が多かった様子。子ども達がより自分からできるように先の見通しを持たせるようにしたクラスも多い。

また、友達からの刺激が得られるように工夫したクラスもある。遊びの継続、出来ることを認めていくことも子ども達のやる気につながったようだ。
- クラスで取り入れたことはありますか

絵本からのきっかけで体を動かす遊び、ダンスへの展開。運動会の取り組みもクラスで行ったり、コンサートとして行うなど趣向を変えることも効果があったようだ。

先生が先頭に立って体を動かすことで子ども達も楽しめることが多かったようです。

模倣、ごっこもより体が使えるように工夫して行ったことがわかる。

直線で走ったり、おいかっけっこをしたり、走る取り組みが少なかったので来月にも継続できるようにしたい。

運動会で意識して取り組んだこと

- ・ダンスで丸くなることを意識して、クラス内でも遊びとして行う。子ども達が丸くなることを楽しんだり、感じられるように言葉を返すことも行っている。
- 先生が「できたね」と認めることが効果的だったようだ。
- ・目標に向かって走る際、担任に向けて走ったり工夫する。
- ・学年でのダンスの取り組みでは「元気に踊ったから○○になった！」と子ども達が見てわかることを伝え、感じとれるようにしていった。（雲が動いた、太陽が見えたなど）
- 取り組みにごっこの要素を沢山入れていくことが年少にとってわかりやすく気持ちよくできるきっかけになったようだ。
- ・共通の取り組みが生かされたことが多いが、クラスなりの工夫も増やしていけるようにしたい。

*9月の生活や運動会を通して、ねらいを達成するためにどんなことができたか。

以下の項目で評価をしてください。また、下の欄には評価した理由も記入してください。

〔 4 - できている 3 - どちらかといえばできている 2 - どちらかといえばできなかった 1 - できなかった
当てはまるところに○印をつけてください。 〕

4歳児 年中 9月		評価			
1	クラス全体でまとまってすると楽しい遊びや活動を経験し、実感する	4	3	2	1
			4クラス		
2	友達とやりとりをしながら、遊びや活動を一緒に進めたり、いろいろな運動あそびを試したり、挑戦したりすることを楽しむ	4	3	2	1
			4クラス		
3	年長の競技などを見て、自分たちもいずれ・・・と憧れをもてるように	4	3	2	1
			2クラス	2クラス	

< 自分の評価における考察 >

9月

- 1 どんなことをしたら実感できたのか
 ・声をそろえる場面を多く作る。できたこと、うまくいったことを取り上げ、そろうことってこういうこと！を担当が返すようにしている。繰り返していくことで実感につながった様子。集団遊びを子ども達だけで続きをしたり、遊びでのつながりが持てるように工夫したこともよかったようだ。
- 2 クラスで取り入れたことは何ですか
 ・子ども達から出た意見を試してみる、クラスなりのオリジナル修行を行うなど、クラスと担任が楽しんだことや共有したことをポイントとしているクラスが多かった。気持ちがそろうことが動きにもつながったようだ。
- 3 先生のどんな言葉が子ども達に伝わりましたか
 ・ペアクラスの姿を具体的に伝える。かっこよく座っているから足も速いのかも！？など子ども達の理解できることを取り上げて具体的にしている。実際の競技をみて担任が大きな声で応援することや、楽しむことも子ども達にとってはよい刺激となっていた。

運動会で意識したこと

- ・上の1. 2のように担任が具体的に言葉で伝えていくことは効果があったようだ。併せて、個人の姿も多に取り上げ、頑張りにつながるようにした。
- 取り組みが始まってもうまくつなげてあげられないクラスや個人への関わり不足を反省としているクラスもある。運動会後の援助の継続していることも大切な関わりということがわかる。
- できたことの認め、楽しかったと喜ぶこと、色々なやり方を試すなど、担任がクラスなりに関わっていくことで子ども達の意識も変化していったようだ。

*9月の生活や運動会を通して、ねらいを達成するためにどんなことができたか。

以下の項目で評価をしてください。また、下の欄には評価した理由も記入してください。

〔 4 - できている 3 - どちらかといえばできている 2 - どちらかといえばできなかった 1 - できなかった
当てはまるところに○印をつけてください。 〕

5歳児 年長 9月		評価			
1	ルールを確認しながら、自分たちで遊べる	4	3	2	1
			2クラス	2クラス	
2	友達とともに運動会に向けて取り組みながら、励ましや協力しあう関係をつくる	4	3	2	1
			4クラス		

< 自分の評価における考察 >

1 子ども達が自主的に進める為に先生は何をしましたか

- ・子ども達が考えられる場面を多く作るが、選択肢を与えたり、やってみてどうだったかなど、振り返る時間を持っていった。クラスによってやり過ぎた、足りないなど反省は残る。
- ・夏休み明けから、個人の姿を把握し、必要な課題を明確に関わったクラスもある。自信を持たせること、認めをすることで自分から進んでいこう、と前向きな姿へと変化していった。
- ・競技を通してルールを守ることを重視することも自信になったようだ。

2 7月の「互いの力量」を踏まえて、関係づくりのためにしたことはありますか

- ・個人の頑張っているところ、力を取り上げてわかるように伝えていった。困っている子を助けてあげる、助けてもらう、など子ども同士が関われるきっかけも作っていくようにした。気持ちのつながりを大切に、取り組みにいかすようにしていた。
- ・運動会の取り組みでは子ども同士が実際に見合うこと、認め合うことが増える。担任の援助が不可欠だったようだ。
- 一人一人の力量がクラスになっていくことを体感させていった。

運動会で意識して取りくんだことは

- ・上記の2を大切にしながら、話しを分割してわかりやすく伝える、理解できるようにするなどクラスなりの工夫が見られる。
 - ・負けた悔しさ、勝った喜びを感じさせることも気持ち作りにとって必要だったようす。
 - ・集団意識として、時間がかかっても自分達で決めたことを進めさせる環境づくりも意識し、できたことにつながるようにしていった。
 - ・具体的に進んでいくことも多いが、お泊まりで得た気持ち、目に見えないパワーの持ち方など、援助は必要だったことがわかる。
- 嬉しい、楽しいだけでなく悔しい、不安などマイナスの感情も表に出させ解決できるようにしているクラスもあった。これは全クラスではないので、今後の取り組みでは同じように体験させるようにしたい。